一般会計予算総額 27億5,300万円

歳入	
※市税	7億6,744万4千円
※地方譲与税	2,260万——円
※娯楽施設利用税交付金	660万——円
※自動車取得税交付金	2,820万——円
※地方交付税	8億3,444万4千円
※交通安全対策特別交付金	570万——円
※分担金および負担金	4,314万6千円
※使用料および手数料	3,974万9千円
※国庫支出金	3億8,952万7千円
※県支出金	9,432万6千円
※財産収入	1,749万7千円
※寄付金	1,323万——円
※繰入金	4,621万——円
※繰越金	3,000万——円
※諸収入	1億2,322万7千円
※市債	2億9,110万——円

およそ以上のような考えのもとで、昭和四十八年度の予算を編成しました。その大要を次にご説明申し上げます。

まず、歳入から申し上げます。右の表をご覧ください。

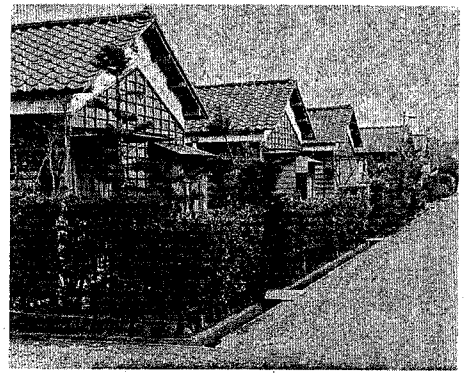
市税については、地方税法の改正がこの国会に提案されておりますが、この法律はいつ成立するか目下のところ予測されていないようであります。しかし、いずれ今の国会で成立するとの見通しになっております。私どもとしてはいちおう現行法に準拠して算定した予算を計上したのであります。この法律案が成立したらこれによって課税することになりますが、事務態勢としては、改正法案によって準備しております。市議会の会期中以外の時期に法律改正になった場合には、その法律に準拠した条例を専決して賦課せざるを得ないのではないかと思われますが、何分のご理解をお願い申し上げます。

さて個人市民税は、改正法案では所得控除額の引き上げ、税率の引き下げで減税内容となっておりますが、所得の伸びも相当みられるので、前年度最終予算に対し三千八百六十七万一千円の伸びを見込みました。

固定資産税については、昭和四十八年度は評価替えの年度であって、その評価額が改定されたこともあって、前年度最終予算に対し三千八百一万二千円の伸びをみたのであります。

電気ガス税も法改正である程度減税されるようでありますが、消費の伸びを考慮し、たばこ消費税とともに前年度に対し若干の増加を計上いたしました。

地方交付税は、いわゆる交付税算定の基礎となる国税三税の伸びが相当みられるところでありますが、いちおう自治省等の指導などを勘案しながら、給与改定のための五千万円を保留し、普通交付税では前年度に対し九千百五十二万七千円の増、特別交付税では三百六十四万三千円の増を見込みました。ただ市税をも含めて世界の通貨問題つまり円の切り上げ問題の進展などによる国内経済界におよぼす景気の動向によって、ある程度の影響があるものと思われるのであります。



5か年計画で市営住宅も鉄筋化されます

国庫支出金では、国庫負担金として民生費で二億六千三百七十九万一千円を見込みましたが、老人福祉費（医療扶助を含む）、児童福祉費（保育所措置費児童手当等）生活保護費などが大きく増加しました。

国庫補助金では一億一千三百七十八万三千円で、主なものとして焼却炉建設費、道路橋梁事業費、公営住宅建設費などの建設費を主として、ほかに失業対策費、教育費などの補助を見込みました。

財産収入の一千七百四十九万七千円は、第一小学校前の旧水道倉庫跡と、新栄町にある旧税務署公舎跡地を売却し市民会館建設費に充当する考えです。

寄付金は、道路舗装などの地元寄付金、小合東小、阿賀小のプール建設の地元寄付金を見込みました。

繰入金のうち財産調整基金繰入金三千四百二十一万円は市民会館建設資金として四十七年度まで主として財産売払収入を基金として積み立ててあるものを、いったん一般会計に歳入し、市民会館建設費の歳出に充当するものであり土地取得基金繰入金三百万円は土地開発公社への出資金相当額を繰り入れるものです。

繰越金三千万円は、現在のところいちおう四十七年度歳入、歳出の差し引き残を見込んで計上しましたが、会計閉鎖期の五月末には、さらに増高を期待しているものです。

諸収入は、商工費貸付金の元利返還金七千五百十五万九千円、農業費貸付金元利返還金二千五百三十七万五千円がその主なものです。

市債は、市民会館建設債一億五千万円をはじめ、ごみ焼却炉建設、農道整備、市道改良、橋梁掛け替え、住宅建設、消防施設整備、小学校プール建設、学校用地取得債として総額二億九千百十万円を見込みました。

福祉予算 大幅に増額

歳出についても別表をご覧ください。

総務関係では、業務量や定員などの増加で現在の市庁舎がいちじるしく狭隘となり、これを緩和するため旧庁舎の裏側一帯の木造部分を取りこわし、ここに軽量鉄骨二階建（一、二階延べ二百十八平方メートル）を建造し、階下を車輌置き場、二階を事務室とすることにし、その所要額として八百万円を計上、また、南保育所の庁舎を改造するためいちおう二百万円を計上いたしました。

市民会館は、第二年度として前年度七千万円の工事費残一億九千七百四十五万円に加え、舞台装置、体育施設、前庭の各工事費と椅子、机などの必要備品購入費として合計二億三千二百七万円を計画いたしました。

明年三月に予定されている市長選挙費用としては二百二十三万五千円を計上いたしました。

民生、衛生関係では、重度心身障害児者医療扶助費として全部市単独分で三百六十九万六千円、老人医療扶助費は市の単独分を含めて六千四百四十六万二千円、妊産婦、乳児医療助成費として市単独分を含めて一千百七十九万九千円をそれぞれに見込み、またへき地保育所十か所に委託費として二千百十万円、南保育所（中沢町）には二百三十五万二千円を補助として計上しました。

ゴミ焼却炉を 二か年計画で建設 し尿の汲み取りは業者の地域区分で分担

環境衛生関係では、ごみ収集を例年どおり二社に業務委託することにして三千七十万九千円を計上し、企業が排出する不燃性の産業廃棄物は埋め立て処理をすべく、その埋め立て地整備工事費として三百万円を計上いたしました。

また、ごみ焼却場の旧炉はまったく老朽化したので建て替えの必要があり、四十八年度、四十九年度の二か年計画で現在地の隣接地を買収して建設すべく本年度分として四千九百五十万円を計上したのであります。

なお、し尿処理に関しては法律上、市の執行を義務づけられており、かねて計画中でありましたが、まず第一段階として地域を指定し、現在の汲み取り業者に各戸の汲み取りを実施してもらうことで各業者との話し合いもつきましたので、四十八年度からは実施に踏み切る計画であります。

老朽化したゴミ焼却炉も新炉建設へ

七日町、下興野 程島の農道を整備 花木事業の高まりにも期待

農林水産業関係では、花木事業関係に対するでこ入れとして、とりあえず少額ではありますが六十万六千円を支出し、今後の推進の一段階としたいのであります。

農業購入費二百三十万円農業近代化資金利子補給百四十五万円、近代化事業市単独補助金二百八十万円を例年どおり計画して若干ながら増額し、また、経営規模拡大資金貸付金は二千五百万円としました。農業土木費としては七日町、下興野、程島の各農道をそれぞれ計画し六千百二十八万七千円を見込みました。

歳出	
※議会費	4,842万9千円
※総務費	5億3,475万3千円
※民生費	5億2,620万8千円
※衛生費	2億2,090万9千円
※労働費	3,542万5千円
※農林水産業費	1億6,643万1千円
※商工費	9,923万9千円
※土木費	4億2,302万3千円
※消防費	9,595万7千円
※教育費	3億9,853万2千円
※公債費	1億9,909万4千円
※諸支出金	300万——円
※予備費	200万——円

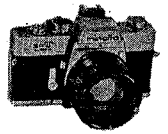
中小企業者に 融資枠など拡大

商工関係は、商工会議所補助金百五十万円、商店街近代化補助金百五十万円とし、そのほか春、夏、秋まつり行事費として所要額を計上しました。中小企業に対する産業育成資金は二千万円を予託し、予託を受けた金融機関はこれに二倍の額を付加して運用することにし、貸付利率も〇・五%引き下げて七%としました。

観光関係では、熊沢公園の施設整備費二百二十万円、遊歩道の延長分として六千平方メートル（一千メートル分）百二十五万円を計上し、今後の進展の足がかりとしました。

新入生募集
新津ドレスメーカー
美しく、ゆたかな衣服生活を手作りで
●初歩の方、年輩の方にも理解しやすい個人指導
●昼夜間部共毎月始め随時入学
お問合せ TEL (2)3066

爆発的人気の冷水器付
どうです、この水の勢い！
さすが電動式といわれます
GR-1803TS 標準価格82,000円
東芝ストアー ㈱八重電商事 本町2 TEL(2)3131


ミノルタSRTスーパー
頑固なカメラマン魂を納得させる頑固な一眼レフ
カメラの10カ月払い、ミノルタカメラショップ
ひかりあざやかさくらカラー
㈱コダカメラ店 本町2丁目 ☎(2)0583

ボリュームある肉料理専門店
とんかつ すき焼 箱岩
新津市本町3 TEL(2)4516